

第44回全国トラックドライバー・コンテスト

学科競技

問題用紙

(制限時間：60分間)

注意事項

- ① 解答はすべて別紙の解答用紙（マークシート方式）に記入すること。
- ② 解答用紙（マークシート方式）は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークし、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ③ 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。
受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号（2桁（例：青森県＝02））』」となる。

部門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例) トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T-02」となる。

- ④ この問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 印刷の不鮮明なところや筆記用具等の件で用事があれば、静かに手を挙げて係員に聞くこと。ただし、問題の内容にふれるものには回答しない。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退席してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手のじゃまにならないよう静かに退席すること。一度退席したら再度入席は出来ない。
- ⑧ 時間については、終了10分前と5分前に予告をする。

I 交通法規 (40 問)

次の設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 1. 車両通行帯が設けられていない道路を通行中、最高速度が高い車両に追いつかれたが、道路の中央との間にその追いついた車両が通行するのに十分な余地がなかったので、できる限り道路の左側端に寄って進路を譲った。
- 問 2. 交差点又はその付近において、消防用自動車が登場してきたときは、車両等は、交差点を避けて一時停止しなければならない。
- 問 3. 過労、病気などの理由により、正常な運転ができないおそれがある状態で車両等を運転してはならない。
- 問 4. 一般道路において、濃霧等により視界が 50 メートル以下の場合、停車または駐車するときに灯火をつけなければならない。
- 問 5. 進路前方の横断歩道の手前で停止している車両があり、横断歩道に歩行者や自転車がいるか見えなかったため、停止車両の側方を通過してそのまま前方に出た。
- 問 6. 高速道路の本線車道において、故障、その他の理由により当該自動車を運転できなくなったときは、停止表示器材を後方から進行してくる自動車の見やすい位置に置かなければならないが、路側帯に当該車両を移動させればこれを行う必要はない。
- 問 7. 貨物の積卸しのために停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。
- 問 8. 上り坂を上っているときは徐行しなければならない。
- 問 9. 徐行とは、車両等が直ちに停止することができるような速度で進行することをいう。
- 問 10. 下図の補助標識は、大型貨物自動車、中型貨物自動車、普通貨物自動車を示す。

大 貨 等

- 問 11. 貨物自動車にて走行中、交差点において信号の表示が赤色の灯火の点滅であるとき、他の交通に注意して徐行しながら進入し、通過した。
- 問 12. 車両総重量 12,000 kg、最大積載量 4,000 kg の自動車の種類は、中型自動車である。
- 問 13. 交差点を左折するときは、交差点の直前で道路の左側端に寄り、徐行しなければならない。

問 14. 車両等はその直前の車両等が急停止しても、これに追突することを避けるために必要な距離を保たなければならない。

問 15. 下図の標示がある道路では、転回してはならない。



問 16. 転回するときの合図は、その 20 メートル手前の地点に達したときに行わねばならない。

問 17. 車両等に積載している物が道路に転落または飛散したときは、速やかに転落または飛散した物を除去する等道路における危険を防止するため必要な措置を講じなければならない。

問 18. 道路標識等によって速度が指定されていない一般道路において、大型貨物自動車の最高速度は 50 キロメートル毎時である。

問 19. 車両等の運転者は、危険を防止するためやむを得ない場合を除き、車両等を急に停止させるような急ブレーキをかけてはならない。

問 20. 車両通行帯のあるトンネルの場合、駐車は禁止されているが停車は禁止されていない。

問 21. 中型免許を取得した場合、中型自動車、普通自動車、小型特殊自動車及び原動機付自転車を運転することができる。

問 22. 道路の中央線から左側の幅員が十分でなかったため、中央よりできるだけ少なく右側にはみ出して通行した。

問 23. 踏切の手前の側端から 40 メートル以内は追い越し禁止である。

問 24. 車両は、同一の方向に二つの車両通行帯がある道路においては、左側の車両通行帯を通行しなければならない。

問 25. 下図は高さ制限の標識であり、標示板に表示される高さをこえる高さ（積載した貨物の高さを含む。）の車両の通行を禁止する。



問 26. 前車が右折の方向指示器を出して道路の右側端に寄って速度を落としたため、左側から追い越した。

- 問 27. 渋滞等により徐行しながらの運転であれば、携帯電話で通話しながら運転しても構わない。
- 問 28. 交通整理の行われていない交差点において、交差する道路の道幅が同じであるとき、右方から進行してくる車両の通行を妨げてはならない。
- 問 29. 車両の右側の道路上に 3.5 メートル以上の余地がない場所では駐車をしてはならないが、運転者がその車両から離れず貨物の積卸しを行うときは駐車することができる。
- 問 30. 横断歩道のない交差点において、歩行者が道路を横断しているときは、その歩行者の通行を妨げてはならない。
- 問 31. 貨物の積卸しのための停止で 10 分を超えない時間内のものは、駐車とはならない。
- 問 32. 消火栓の標識の位置から 8 メートル以内の部分に駐車してはならない。
- 問 33. 信号の表示が赤色の灯火であったが、警察官が進行方向に平行に腕を横に水平にあげていたため、進行した。
- 問 34. 踏切の手前で踏切の遮断機が閉じようとしていたが、遮断機が完全に閉じる前に通過できると判断できたため、踏切内に進入した。
- 問 35. 進路の前方に横断歩道を横断しようとする歩行者がいたため、横断歩道の直前で一時停止し、歩行者の通行を妨げないようにした。
- 問 36. 速やかに車両に戻れる範囲であれば、エンジンを切らずに車両から離れても良い。

- 問 37. 下図は合流交通ありを表示する警戒標識である。



- 問 38. 下図は安全地帯を表示する指示標識であり、車両は進入してはならない。



- 問 39. 路線バスが停留所から発進しようとして方向指示器により合図をした場合は、その後方にある車両は、その速度又は方向を急に変更しなければならないこととなる場合を除き、この路線バスの進路の変更を妨げてはならない。
- 問 40. 勾配の急な下り坂で前車より速度が出たので、前車の側方から追い越した。

Ⅱ 構造機能 (20 問)

- 問 41. 道路運送車両の保安基準に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。
- ① 自動車の長さは、12メートルを超えてはならない。
 - ② 自動車の高さは、4メートルを超えてはならない。
 - ③ 自動車の軸重は10トンを超えてはならない。
 - ④ 自動車の幅は2.5メートルを超えてはならない。
- 問 42. 事業用貨物自動車の点検整備に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。
- ① 日常点検は、1日1回、運行の開始前に行わなければならない。
 - ② 定期点検整備は、3か月ごと、12か月ごとの2種類があり、自動車点検基準により行わなければならない。
 - ③ 定期点検整備の未実施の事業者には、行政処分基準により処分が課せられる。
 - ④ 運行開始前の日常点検の結果により、運行の可否を決定するのは運行管理者である。
- 問 43. 事業用貨物自動車の日常点検について、次の点検内容のうち、走行距離や運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りるものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。
- ① タイヤの空気圧が適切であること。
 - ② エア・タンクに凝水がないこと。
 - ③ 冷却水の量が適切であること。
 - ④ ブレーキの液量が適切であること。
- 問 44. タイヤ・ホイールに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。
- ① 新ISO方式のホイールとJIS方式のホイールとは互換性がない。
 - ② 新ISO方式ホイールの車両は、左右の車輪のいずれも右ねじになる。
 - ③ 車両総重量5トン以上の事業用自動車には、ディスク・ホイールの取付状態の点検が義務づけられている。
 - ④ 事業用貨物自動車のタイヤには残り溝1.6ミリメートルを表す目安として、スリップサインが設けられている。
- 問 45. 制動灯に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。
- ① 制動灯の灯光の色は、赤色であること。
 - ② 制動灯は、昼間にその後方80メートルの距離から点灯を確認できるものであり、かつその照射光線は、他の交通を妨げないものであること。
 - ③ 制動灯は、点滅するものでないこと。
 - ④ 制動灯は、自動車の前方を照射しないように取り付けられていること。

次の設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 46. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上のものには、運行記録計を備えなければならない。
- 問 47. 走行用前照灯は、その全てを同時に照射したとき、夜間にその前方50メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有していなければならない。
- 問 48. 車幅灯の灯光の色は、白色であること。ただし、方向指示器等と構造上一体となっているものは、橙色であってもよい。
- 問 49. 警音器は、運転者が運転席において、音の大きさ又は音色を容易に変化させることのできるものであってはならない。
- 問 50. 事業用貨物自動車の定期点検におけるブレーキの液量点検は、3か月及び12か月ごとに行わなければならない。
- 問 51. ウインド・ウォッシャーの日常点検は、液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないことを点検しなければならない。
- 問 52. 「積車状態」とは、空車状態の道路運送車両に乗車定員の人員が乗車し、最大積載量の物品が積載された状態をいうが、この場合において乗車定員1人の重量は55キログラムとする。
- 問 53. 貨物自動車（基準緩和車両を除く）の車体の後面には、車両総重量を表示しなければならない。
- 問 54. 貨物の運送の用に供する最大積載量5トン以上、車両総重量8トン以上の自動車には、100キロメートル毎時を超えて走行しないようにするための速度抑制装置を備えなければならない。
- 問 55. 自動車の排気管は、左向き又は右向きに開口していなければならない。
- 問 56. 警告反射板による反射光の色は赤色であり、夜間100メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合に、その反射光を照射位置から確認できるものでなければならない。
- 問 57. バッテリー液が「LOWER」以下になったまま使用または充電すると、露出した劣化部分からの火花などでバッテリーの破裂や爆発の原因となるおそれがある。
- 問 58. 事業用貨物自動車の点検整備記録簿は、記載の日から1年間、当該自動車に備えおかなければならない。
- 問 59. 車両総重量が7トン未満の貨物自動車に備える突入防止装置の長さは、これを備える自動車の幅の60%以上でなければならない。
- 問 60. 燃料フィルタの定期的な交換は、ディーゼル車の排出する大気汚染物質等の低減につながる。

Ⅲ 運転常識 (20 問)

問 61. 平成 23 年中の交通事故統計（交通事故総合分析センターによる。）に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ① 交通事故死者数は 5,000 人を下回った。
- ② 交通事故負傷者数は 900,000 人を下回った。
- ③ 事業用トラックが第一当事者の交通死亡事故件数は 400 件を上回った。
- ④ 車両相互間の事故類型別の交通事故件数で、最も多いのは「追突」であった。

問 62. 一般貨物自動車運送事業の運転者が、「乗務等の記録」について記録しなければならない事項に関する次の記述のうち、法令に定めのないものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ① 点呼を実施した運行管理者の氏名
- ② 自動車事故報告規則に規定する事故
- ③ 乗務の開始及び終了の地点及び日時並びに主な経過地点及び乗務した距離
- ④ 著しい運行の遅延その他の異常な状態が発生した場合にあっては、その概要及び原因

問 63. 人間の能力と自動車の運転に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ① 明るいところから急に暗いところに入ったとき、最初は何も見えないが、やがて少しずつ見えるようになることを暗順応といい、トンネルに入るときは、速度を落として、慎重に運転するようにする。
- ② 人の目の位置を変えずに見渡せる範囲を視野といい、普通、静止時の視野は片目で左右それぞれ 160 度くらい、両目で 200 度くらいである。
- ③ 自動車の速度が速くなるほど、運転者が確認できる視野は狭くなり、近くを注視するようになるために、遠くは見えにくくなる。
- ④ 運転者が疲れているときなどは、危険を感じて判断するまでの時間が長くなるので、ブレーキ操作が遅れ、空走距離は長くなる。

問 64. 一般貨物自動車運送事業者が作成する運行指示書に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ① 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時を記載しなければならない。
- ② 休憩がある場合は、乗務員の休憩地点及び休憩時間を記載しなければならない。
- ③ 運転又は業務の交替がある場合は、乗務員の運転又は業務の交替の地点を記載しなければならない。
- ④ 運行指示書及びその写しを運行の終了の日から 3 年間保存しなければならない。

問 65. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（以下「改善基準」という。）に定める自動車運転者の連続運転時間の中断方法として、次のうち改善基準に適合しているものを一つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

①	運転時間 2 時間	休憩時間 10 分	運転時間 1 時間	休憩時間 10 分	運転時間 1 時間	休憩時間 5 分	運転時間 2 時間
②	運転時間 1 時間 30 分	休憩時間 10 分	運転時間 40 分	休憩時間 10 分	運転時間 2 時間	休憩時間 10 分	運転時間 1 時間 30 分
③	運転時間 1 時間 10 分	休憩時間 20 分	運転時間 2 時間 50 分		休憩時間 10 分	運転時間 1 時間 10 分	
④	運転時間 4 時間 20 分			休憩時間 30 分	運転時間 3 時間		

次の設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 66. フェード現象とは、下り坂などでフットブレーキを使い過ぎると、ブレーキパッド、ディスクが過熱して摩擦力が急激に減少し、ブレーキの効きが悪くなる現象をいう。
- 問 67. 衝突したときの衝撃力は、その重量と速度に応じて大きくなるため、空荷走行時よりも積載走行時の方が衝突したとき他に与える衝撃は大きくなる。
- 問 68. 遠心力や制動距離は、速度の2乗に比例するので速度が2倍になると、遠心力や制動距離は4倍になる。
- 問 69. 雪道を走行する際は、ハンドルやタイヤを取られる可能性があるので、わだちを避けて走行するのが安全である。
- 問 70. 大型トラックは、乗用車に比べて運転席の位置が高く見下ろす形になり、車間距離が実際よりも長く感じられるために、車間距離が短くなりやすいので注意する。
- 問 71. 走行中にアクセルペダルを離しエンジnbrakeの状態になると、エンジンへの燃料供給はカットされ、無噴射状態となる。この状態では、燃料は消費せず、車は惰力だけで走行することとなる。このエンジnbrakeの状態での惰力走行をうまくとりいれて走行することがエコドライブにつながる。
- 問 72. 二日酔いで酒気が残っていても、アルコールの程度が呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満であれば乗務しても差し支えない。
- 問 73. 運転者は、踏切においては変速装置を操作し速やかに通過しなければならない。
- 問 74. 乗務員は、貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載するとともに、荷崩れ等を防止するためにロープ又はシート掛け等の必要な措置をとらなければならない。
- 問 75. 事業用貨物自動車の運転者は勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を取らなければならないが、業務の必要上困難な場合には分割して取得することができる。この場合、分割された休息期間は、1日において1回当たり継続4時間以上、合計10時間以上でなければならない。
- 問 76. 事業用貨物自動車の乗務員は、故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとらなければならない。
- 問 77. 事業用貨物自動車の運転者の拘束時間は1日13時間が基本であるが、1週について3回までは、15時間を超え17時間まで拘束時間を延長することができる。
- 問 78. 事業用貨物自動車の運転者は、疾病、疲労等で安全な運転ができないおそれがあるときは、その旨を事業者申し出ること。

問 79. 事業用貨物自動車運転者の拘束時間とは、労働時間と休憩時間の合計時間をいうが、仮眠時間は拘束時間には含まれない。

問 80. 下のマークは「直射日光・熱遮蔽」を表している。



第44回 全国トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

問	○	×
1	○	
2	○	
3	○	
4	○	
5		×
6		×
7	○	
8		×
9	○	
10		×
11		×
12		×
13		×
14	○	
15	○	
16		×
17	○	
18		×
19	○	
20		×

問	○	×
21	○	
22	○	
23		×
24	○	
25	○	
26	○	
27		×
28		×
29	○	
30	○	
31		×
32		×
33	○	
34		×
35	○	
36		×
37	○	
38	○	
39	○	
40		×

問	①	②	③	④
41		○		
42				○
43			○	
44			○	
45		○		

問	①	②	③	④
61			○	
62	○			
63			○	
64				○
65			○	

問	○	×
46	○	
47		×
48	○	
49	○	
50	○	
51	○	
52	○	
53		×
54		×
55		×
56		×
57	○	
58	○	
59	○	
60	○	

問	○	×
66	○	
67	○	
68	○	
69		×
70	○	
71	○	
72		×
73		×
74	○	
75	○	
76	○	
77		×
78	○	
79		×
80	○	